

お客さま各位

## 「マンション専用ローン」融資金利の据え置きについて

平素より〈沖縄ろうきん〉をご利用いただきありがとうございます。

沖縄県労働金庫（理事長 高良恵一）は、「マンション専用ローン」の融資金利につきまして、以下の取り扱いとすることを、お知らせいたします。

これからも、勤労者に寄り添った生活応援の取り組みを行います。

### 1. 2023年4月1日以降の融資金利について

年1.00%（据え置き） \*保証料率、団信保険料率を除きます。

### 2. 対象者 「マンション専用ローン」の契約者

### 3. 理由

「マンション専用ローン」の融資金利につきましては、金融市場金利に連動しやすい長期プライムレートを基準としており、国内外の金融情勢や日銀の金融政策等の影響により販売開始以降、初めて上昇基調※で推移しております。

基準金利が上昇した場合、貸出日より5年間は返済額の見直しはございませんが、次回の返済見直し時に返済額が上昇した場合には、家計支出の増加につながります。

長期化するコロナ禍やウクライナ情勢により勤労者を取り巻く生活環境が激変し、エネルギー価格や原材料等の高騰による値上げに伴う家計負担が増加する中、当金庫は勤労者福祉金融機関の役割発揮として、勤労者に寄り添った生活応援運動の取り組みとして融資金利を据え置きました。

### 4. 本来の「マンション専用ローン」の融資金利（変動金利）の取り扱い

「マンション専用ローン」の融資金利（保証料率、団信保険料率除く）につきましては、『長期プライムレート - 0.20%』と定めており、毎年4月1日および10月1日を見直し基準日としています。

現在、長期プライムレートが上昇傾向にあり、2023年2月時点では、1.50%となっています。

従って、本来であれば2023年4月1日時点の「マンション専用ローン」の基準金利は、1.30%（= 1.50% - 0.20%）となり、1.00%から0.30%引き上げられます。

今回は、生活応援の観点から、特例として金利を据え置きましたが、「マンション専用ローン」の融資金利を算出する「長期プライムレート - 0.20%」の金利設定ルールを変更するものではございません。

※長期プライムレートは金融市場等の影響により変動（増減）します。

※上限金利の2.00%（保証料率、団信保険料率除く）を超えることはございません。

【お問い合わせは、最寄りの営業店窓口へご相談ください。】